

令和7年度 上尾市立平方東小学校 学校経営方針

校長 熊坂 由美子

1 はじめに

- 1 沿革 開校52年目を迎える学校
- 2 児童数・学級数 児童数387名 学級数15（通常学級12 特別支援学級3）
- 3 職員構成 職員数 44名
- 4 児童の実態
 - ・明るく素直である。
 - ・落ち着いた学校生活を送っている。
- 5 地域・保護者
 - ・地域・保護者は協力的である。
 - ・学区は西上尾第二団地・小敷谷・地頭方・壱丁目に別れ、太平中学校が隣接する。
 - ・壱丁目地区・地頭方地区に新しい住宅が増え、児童数が増えている。

2 学校教育目標

よく学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成

○よく考え進んで学ぶ子〈知〉

- 授業に真剣に取り組む（学習意欲が高い児童）。
- 先生や友達の話をよく聴く（学習規律の確立した学級）。
- 自分の考えをもち、進んで発表する。
- 家庭学習に進んで取り組む。

○明るくなかよく助け合う子〈徳〉

- 「明るく・元気な」あいさつや返事をする。
- 優しい言葉づかい、思いやりのある行動をする。
- 友達と協力して自分の役割を果たす。
- 自分や友達を大切にする。

○たくましくがんばりとおす子〈体〉

- 元気に運動や外遊びをする。
- 夢や目標に向かって最後まで努力する。
- 自分や友達の体と心を大切に、健康や安全に気を付けた生活を送る。

3 学校経営方針

理念「子供が主役の学校 ～夢 感動 笑顔いっぱい 平方東小～」

学校は 子供たちの夢を育み、感動をもたらし、笑顔あふれる場所である

(1) 目指す学校像

- 児童の生きる力、学ぶ喜び、絆を育む学校
- 安心・安全できれいな学校
- 人との関わりを大切にし、地域とともに歩む学校
- 教育力を結集し向上する学校

(2) 目指す児童像

- 自分の思いを伝え、主体的に行動できる児童
- 進んであいさつし、人のために行動できる児童
- 目標をもち、心身ともに健康でたくましい児童

(3) 目指す教師像

- 「分かる授業」を行い、専門性を高めるために自己研鑽する教師
- 児童に寄り添い、温かい人間関係を築ける教師
- 組織の一員として連携・協力を努める教師

(4) 学校経営の基本方針

- ①教育公務員としての職責を自覚し、サービスの厳正に努める。(礼・場・時)
- ②子供を育てるという崇高な使命を深く自覚し、様々な機会を捉えて自己研鑽に努める。(「教師が変わる⇒授業が変わる⇒子供が変わる⇒学校が変わる」)
- ③児童一人一人のよさを認め褒めて伸ばす指導に努める。
→児童一人一人が互いのよさを認め合い、よさや可能性を発揮でき、他者の失敗や短所に寛容で共感的な学級の雰囲気(支持的風土)の醸成。
- ④教職員が共通の目的や課題を持ち、協力して取り組むことで、チームワーク行動を高め、学校力の向上に努める。
- ⑤児童一人一人の学力に応じた指導を実施し、基礎・基本の確かな定着に努める。
- ⑥道徳教育の充実を図り、よりよく生きようとする児童を指導・援助し、感動や自己有用感・自己存在感などを実現する体験的な活動と響き合わせた心の教育に努める。
- ⑦特別支援教育の充実を図り、配慮を必要とする児童への適切な支援を実施し、生きる力の習得に努める。
- ⑧生徒指導・教育相談体制の充実を図り、児童理解を深め、不登校・いじめ・虐待問題への理解と対応力を高め、問題の早期発見・早期対応、解消、再発防止に努める。
(全教職員の共通理解・共通行動による生徒指導・教育相談～報告・連絡・相談・確認の徹底～)
- ⑨デジタル化を進め、学校からの情報を適切に発信するとともに、家庭、地域による考え・情報・意見などを大切にし、協力・連携・協働を進め、家庭・地域とともに歩む開かれた学校づくりに努める。
- ⑩太平中学校区小中一貫教育を積極的に推進し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動に努める。
- ⑪教職員が心に余裕をもった指導ができるように働き方改革を進める。

4 本年度の重点目標と具体的努力点

(1) 確かな学力

①基礎的・基本的な学力の定着

- ・授業の「見通し・振り返り」を重視した「分かる授業」の実践
- ・多様性に応じた個別最適な学びの推進
- ・デジタル教材の積極的活用
- ・自分の考えをもち、意見を発信できる子の育成
- ・少人数指導等の指導方法の工夫
- ・いきいきタイムの活用（計算、漢字、読書、スピーチ等）
- ・家庭における自主学習の推奨

②学習環境づくり

- ・ICT端末の積極的かつ効果的な活用
- ・授業規律(しっかり話を聴く、挙手して発表する、「はい」と返事をする、姿勢を正しくする、机上等自分の持ち物を整とんする)の徹底
- ・インクルーシブ教育の視点をもった明確な指示・発問・板書の工夫
- ・ALTを活用した英語教育の充実
- ・教室内の学習コーナーを工夫(既習内容の確認や見通しをもつことができる)
- ・きれいな教室環境の維持

③教員研修

- ・児童の発表力向上に関する学校課題研究の取組（「発表する力の向上」を目指し、自分の思いや考えを他者に伝える力を付けていく）
- ・ICT端末を活用した指導法の研究
- ・小中一貫教育に係る3校合同研修の開催

(2) 豊かな心

①道徳教育の充実

- ・全教育活動を通した道徳性の育成
- ・道徳科授業の充実(考え、議論する道徳)
- ・いじめを許さない心、人のために行動できる態度を育てる学級・学年づくり（特別活動の充実）

②体験的活動の充実

- ・生活科・総合的な学習の時間における体験的活動・協同的な学びの充実
- ・縦割り班活動(異学年交流)の推進(にこにこタイム・運動会等)
- ・学校応援団や外部講師の積極的活用

③人権教育の推進

- ・一人一人のよさを認める「褒める教育」
- ・「いじめをしない、させない、許さない」の徹底（未然防止・見逃しゼロ）
- ・デジタル・シティズンシップ教育の実践
- ・多文化共生に関する国際理解教育の推進

④規律ある態度の育成

- ・「平方東小 よい子のやくそく」に基づいた態度の育成

- ・「自ら進んであいさつ」「やさしい言葉遣い」の指導の徹底

⑤読書活動の推進

- ・いきいきタイムでの「読書」の取組
- ・読み聞かせの実施（担任、管理職、学校応援団、学校図書館支援員等）
- ・魅力ある学校図書館づくり
- ・上尾市図書館平方分館との連携（並行読書、週末読書）

（３）健やかな体

①体力向上の推進

- ・運動の楽しさを味わえる体育授業
- ・新体力テストを生かした手立ての構築
- ・ドッジボールコートを整備等による外遊びの奨励（教職員の積極的な関わり）

②健康・安全教育の充実

- ・保健指導を通して、自分の心と体、友達の心と体を大切にできる児童の育成
- ・家庭と連携した基本的生活習慣の確立
- ・各種避難訓練の効果的な実施（地震・火災・不審者・水害・保護者引き渡し等）
- ・交通安全指導による、登下校時や放課後の交通事故防止（ヘルメットの着用、自転車安全点検）

（４）信頼される学校

①組織的な対応、適切な情報発信

- ・組織で対応し、共通理解・共通指導を徹底（適時ケース会議実施）
- ・学校配信メール「さくら連絡網」やデジタル連絡帳等を活用した適切な情報発信や保護者との双方向のやりとり
- ・学校ホームページにおける、学校の特色ある活動の配信

②いじめ・不登校対策

- ・児童や保護者との望ましい信頼関係の構築
- ・「上尾市いじめ防止等のための基本方針」「上尾市不登校対策基本方針」に基づいた対応
- ・ＳＳＲ（スペシャル・サポート・ルーム）の整備とＳＲＴ（サポート・ルーム・ティーチャー）の活用
- ・ＳＣ（スクール・カウンセラー）、さわやか相談員、各種関係機関との連携

③施設・設備等の整備・充実

- ・毎月の安全点検と整備の充実
- ・四季折々の植物や掲示物のある、潤いある環境づくり
- ・児童がんばりや成長の見られる掲示の充実

④小中一貫教育の推進（太平中・平方小・平方東小）

- ・太平中学校区小中一貫教育共通目標
知…よく学び よく考え 共に学びを深める子供
徳…共に生き 仲良く助け合い 多様な考え方を認める子供
体…たくましく 心身ともに健康で 進んで行動する子供
- ・「いじめ防止子供サミット」による「なかよしの木」の実践
- ・教育課程連結の研究